



# ねっどわーく



H24. 06. 12 No.16

## ■児童に任せる≒時間がかかります

自分のことで恐縮ですが、5月15日に行った授業研の流れ、簡単にまとめると下のようになりました。

- 1 5月15日で、やりたいこと決まらず
- 2 その後の話し合い活動で、K君より、時期をずらして、みんなやりたいことをした方が納得するんじゃないかという意見が出、みんなが賛同
- 3 やりたいことを、年間の行事予定等を加味して、6の3の年間計画作成（→後日紹介します）  
M子さんのタイムカプセルも、3月に組み込まれる
- 4 今やりたいことは、1年生に早く学校生活になれてもらいたいということで、遊ぶ会に決定
- 5 本日（6月12日）遊ぶ会の実行

自分でも価値があるなあと考えたのは、2と3。時間がかかった分だけ、自分たちでも納得しているようです。もっと効率的に…とってしまうのですが、これは、こうした話し合い活動を繰り返して、試行錯誤しながらも、児童たち自身に実感していかないとだめだとあらためて思いました。つまり、効率的になっていくのは、そのあとの話かと。

「待つ」ということは、大変勇気のいることで、つい口出しをしてしまいたくなるのも人情です。でも、今、目の前にいる子どもたち自身が、自らの力で獲得していかなければならないこと、それを見極め、その大事さのためには時間が犠牲になることがわかりました。



## ■6月18日（月）6の2の授業研究会について

◎1～4年生は4時間授業。授業は5時間目。

◎助言者の、山形大 野口徹先生は、10:40に来校し、3・4校時、全学級の様子を通覧。

野口先生は、東京都で小学校の先生をして  
2011年の11月から山形大へいらっしゃいました。  
(写真、左側の方です)

